

第34回 白川・東白川地域公共交通活性化協議会 次第

日 時 令和7年7月4日（金）午後3時00分～
場 所 白川町町民会館1階 大研修室

1. 開会

2. 会長あいさつ 白川町長 佐伯 正貴
副会長あいさつ 東白川村長 今井 俊郎
名古屋大学大学院教授 加藤 博和
(議事進行) 座長： 白川町副町長 安江 章

3. 報告事項

- (1) 委員の就任について
(2) 公共交通計画の施策に基づいて実施した事業の報告について 【資料 1】
(3) 令和6年度おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用実績について 【資料 2】
(4) 令和6年度白川・東白川地域公共交通活性化協議会収支決算について 【資料 3】
(5) おでかけツアーの実施について 【資料 4】
(6) 貨客混載事業の実施について 【資料 5】
(7) つちのこバスの運行について 【別 紙】

4. 協議事項

- (1) 令和7年度地域公共交通計画事業実施計画について 【資料 6】
(2) 定期バス白川中央線、白川東白川線の見直しについて 【資料7】、【別紙】

5. その他

6. 閉会

<配付資料>

- 資料1 公共交通計画の施策に基づいて実施した事業の報告
資料2 令和6年度おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用実績
資料3 令和6年度白川・東白川地域公共交通活性化協議会決算書
資料4 おでかけツアー「ピアチェーレと佐見カフェ」、「杵振り踊りと東座」
資料5 貨客混載事業について
資料6 令和7年度地域公共交通計画事業実施計画
資料7 ダイヤ改正について
別 紙 「東白川つちのこバス」ダイヤ改正
別 紙 定期運行バス時刻表

白川・東白川地域公共交通活性化協議会委員名簿

(敬称略)

構成区分		役職等	氏名	備考
1	町村長	白川町長	佐伯 正貴	
2		東白川村長	今井 俊郎	
3	議会推薦	白川町議会議長	藤井 宏之	
4		東白川村議会議長	安江 健二	新任
5	事業者	公益社団法人岐阜県バス協会専務理事	木村 治史	
6		濃飛乗合自動車株式会社 運輸事業部	有路 秀彦	
7		岐阜県交通運輸産業労働組合協議会	高橋 直之	
8		大新東株式会社	佐藤 久仁	
9		東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部管理部企画課	井上 雅隆	新任 オンライン参加
10		医療法人白水会 白川病院	松本 茂	
11	住民代表	白川町	白川町自治協議会長会会長	有田 恒文 新任
12		白川町	白川町商工会長	長尾 達美
13		白川町	白川町観光協会長	細江 辰男
14		白川町	白川町シニアクラブ連合会長	鈴村 逸策
15		白川町	白川町公共交通利用者代表	笹本 恵子 欠席
16		白川町	白川町中学校PTA役員	清水 一生
17		白川町	白川町校長会会長	太田 紀宏 新任
18		白川町	白川町バス通学高校生保護者代表	塩月 洋生
19		白川町	白川町社会福祉協議会	松山 良悟 欠席
20		東白川村	東白川村区会長	安江 豊司 新任 欠席
21		東白川村	東白川村シニアクラブ連合会代表	神戸 景典 新任 欠席
22		東白川村	東白川村高校生保護者会代表	土井 啓也 新任 欠席
23	国土交通省	中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	大石 悟	新任
24		中部地方整備局岐阜国道事務所管理第一課長	川口 貴弘	新任
25	岐阜県	可茂土木事務所施設管理課長	若園 賢一	
26		加茂警察署交通課長	山口 雅司	代理 交通課 奥村 陽輔
27		都市建築部都市公園・交通局公共交通課長	大脇 哲也	新任 代理 公共交通課 主事 野田 なつみ
28	学識経験者	名古屋大学大学院環境学研究科教授	加藤 博和	
29	副町長	白川町副町長	安江 章	
30	副村長	東白川村副村長	桂川 憲生	
31	町村職員	白川町役場建設環境課長	中村 豊	
32		東白川村役場産業建設課課長	辻 普稔	新任

公共交通計画の施策に基づいて実施した事業の報告

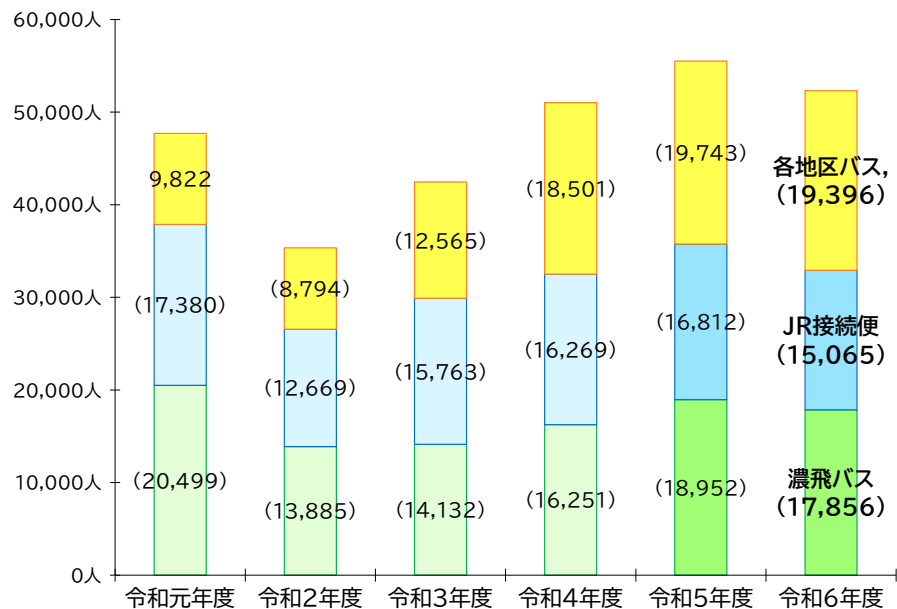
施策	事業名	主な内容
2-2	高校通学懇談会 黒川、佐見、蘇原 (3月21日、24日、25日)	高校生の保護者を対象として高校通学に関する懇談会を各地区で実施。公共交通の説明と新1年生の自宅場所を確認し、4月からの運行内容を確認した。
2-6	国土交通省 YouTube 撮影 (3月25日)	12月に国土交通大臣表彰を受賞したことにより、国土交通省からスクールバスを活用した公共交通の運行について取材を受けた。 
2-1	小・中学生おでかけツアー (3月28日)	道の駅ピアチェーレと佐見地区のガラパゴスカフェを目的地として、楽しみながら公共交通を学ぶおでかけツアーを実施した。 
2-1	中川地区おでかけツアー (4月13日)	中川地区の高齢者男性グループ「グロキシニア」で切井、黒川地区を巡るツアーを実施した。 
2-3	白川北地区シニアクラブ総会 (4月15日)	総会の中でお時間をいただき、公共交通の利用方法やおでかけツアーの紹介を行い PR した。
1-1	事業所連携会議 (5月15日)	時刻改正に関する会議を実施。大新東、濃飛バス、白川病院にご参加いただき、現状のダイヤの課題を共有した。
2-2	白川中学校、黒川中学校進路説明会 (5月28日、6月12日)	白中、黒中の高校進路説明会でおでかけしらかわの紹介や、高校に通うときの公共交通の利用方法について紹介した。 
1-2	つちのこバスダイヤ改正 (6月1日)	村民の意見を参考にバスの通過場所・出発場所を変更した。
2-7	地域通貨 ShiRaCa 利用	ShiRaCa を利用して運賃の支払いが可能となった。
2-3	地域部会長会議 (6月10日)	各地区部会長にご参加いただき、今年度部会で実施する事業について確認をした。
1-5	貨客混載事業実証運行 (6月17日)	黒川地区からよいいち、バスセンターまで実証運行。空箱を載せて運行し、出荷時の流れを確認した。
2-7	デジタルサイネージ設置 (6月18日)	白川口駅の待合所にデジタルサイネージを設置。今後、町の観光情報や公共交通の利用方法などの紹介を行う。

おでかけしらかわ・ひがししらかわ 利用実績

【令和6年度実績】2024.4～2025.3

区分	濃飛バス						JR接続便(町自家用有償)				各地区バス(町自家用有償)				合 計			
	2024年			2023年	増減	増減率	2024年	2023年	増減	増減率	2024年	2023年	増減	増減率	2024年	2023年	増減	増減率
	東白川	中央	計															
4月	750	660	1,410	1,517	↓107	↓7%	1,366	1,462	↓96	↓7%	1,656	1,492	↑164	↑11%	4,432	4,471	↓39	↓1%
5月	837	615	1,452	1,626	↓174	↓11%	1,702	1,822	↓120	↓7%	1,712	1,558	↑154	↑10%	4,866	5,006	↓140	↓3%
6月	844	586	1,430	1,582	↓152	↓10%	1,530	1,767	↓237	↓13%	1,490	1,673	↓183	↓11%	4,450	5,022	↓572	↓11%
7月	771	687	1,458	1,443	↑15	↑1%	1,235	1,354	↓119	↓9%	1,646	1,806	↓160	↓9%	4,339	4,603	↓264	↓6%
8月	866	607	1,473	1,571	↓98	↓6%	740	869	↓129	↓15%	1,605	1,641	↓36	↓2%	3,818	4,081	↓263	↓6%
9月	959	631	1,590	1,712	↓122	↓7%	1,322	1,608	↓286	↓18%	1,570	1,615	↓45	↓3%	4,482	4,935	↓453	↓9%
10月	850	758	1,608	1,766	↓158	↓9%	1,702	1,914	↓212	↓11%	1,640	1,784	↓144	↓8%	4,950	5,464	↓514	↓9%
11月	816	770	1,586	1,603	↓17	↓1%	1,414	1,671	↓257	↓15%	1,661	1,787	↓126	↓7%	4,661	5,061	↓400	↓8%
12月	756	793	1,549	1,589	↓40	↓3%	1,261	1,301	↓40	↓3%	1,649	1,694	↓45	↓3%	4,459	4,584	↓125	↓3%
1月	716	689	1,405	1,426	↓21	↓1%	1,305	1,422	↓117	↓8%	1,431	1,504	↓73	↓5%	4,141	4,352	↓211	↓5%
2月	668	661	1,329	1,456	↓127	↓9%	979	1,161	↓182	↓16%	1,402	1,585	↓183	↓12%	3,710	4,202	↓492	↓12%
3月	770	796	1,566	1,661	↓95	↓6%	509	461	↑48	↑10%	1,908	1,604	↑304	↑19%	3,983	3,726	↑257	↑7%
合計	9,603	8,253	17,856	18,952	↓1,096	↓6%	15,065	16,812	↓1,747	↓10%	19,370	19,743	↓373	↓2%	52,291	55,507	↓3,216	↓6%

年間利用者数の推移



◆ 濃飛バス

- 白川中央線では、月平均36名の利用増加 ↑
 - バスを利用してマツオカへ行く人が増えた。
- 白川東白川線では、月平均127名の利用減 ↓
 - ヘビーユーザーの施設入所や死亡による
- 2024年4月・5月と2025年4月・5月を比較すると月平均194名の利用増 ↑ となっている。
 - JR高山線を利用して学校へ通う高校生が増えたため(5名↑)

◆ JR接続便

JR接続便の登録者数及び利用者数(2024)

地区名	JR通学者	うち方面			登録者数	利用者数	利用率
		可茂	下呂	その他			
白川	18	12	2	4	0	0	—
白川北	14	8	2	4	4	3	75%
蘇原	37	26	5	6	21	19	90%
黒川	22	19		3	24	20	83%
佐見	14	8	5	1	15	12	80%
東白川村	36	30	6	0	0	0	—
合 計	141	103	20	18	64	54	84%

※JR通学者数は、白川町高等学校通学費補助金申請者数としている。

※JR通学者数 < 登録者数 となっているのは、登録解除がされていないため

※白川地区、東白川村は、濃飛バスを利用して通学

※駅周辺(下油井含む)在住の高校生は、徒歩、自転車及び一部家族送迎

JRを利用して高校へ通う高校生の実態を把握し、もう少し詳細な分析を行い、問題や課題を整理していく。

◆ 各地区バス

- 蘇原地区では、利用者の施設入所などにより減少しているものの、白川及び黒川地区では買い物利用などで増えている。
- 2024年4月・5月と2025年4月・5月を比較すると月平均140名の利用増となっている。
 - お逢者教室やまめな会(福祉)といった活動へ団体で利用する機会が増えた。

ポジティブ
ポイント

令和6年度 白川・東白川地域公共交通活性化協議会決算書

【収入の部】

款	項	予算額 (A)	決算額 (B)	比較 (A-B)	摘	要
1	負担金	2,310,000	2,310,000	0		
	1 負担金	2,310,000	2,310,000	0	町村負担金	白川町 1,794,000 東白川村 516,000
2	補助金	0	0	0		
	1 補助金	0	0	0		
3	繰越金	174,236	174,236	0		
	1 繰越金	174,236	174,236	0	前年度繰越金	
4	諸収入	1,000	759	241		
	1 諸収入	1,000	759	241	預金利子	
	収入合計	2,485,236	2,484,995	241		

【支出の部】

款	項	予算額 (A)	決算額 (B)	比較 (A-B)	摘	要
1	運営費	1,030,000	810,821	219,179		
	1 会議費	970,000	739,394	230,606	委員及び対策監報償費	696,000
					委員等費用弁償	22,980
					会議開催費	20,414
	2 事務費	60,000	71,427	△ 11,427	消耗品費	35,620
			71,427		郵便料	12,102
					振込手数料	20,705
					駐車場使用料	3,000
2	事業費	1,670,000	1,014,220	655,780		
	1 事業費	1,670,000	1,014,220	655,780	道の駅レシートラリー	300,000
					車内Wi-Fi使用料	308,160
					乗車券類印刷費	61,160
					モニターツアー	150,000
					ホームページ運営	196,900
3	予備費	0	0	0		
	1 予備費	0	0	0		
	支出合計	2,700,000	1,825,041	874,959		

歳入歳出差引残額 659,954円 翌年度へ繰越

令和6年度白川・東白川地域公共交通活性化協議会の決算について、諸帳簿及び証拠書類の監査を実施した結果、適正に執行され上記のとおり決算額に誤りはないものと認める。

令和7年4月30日

白川・東白川地域公共交通活性化協議会

監事 白川町会計管理者

監事 東白川村会計管理者

ミツノ夏明

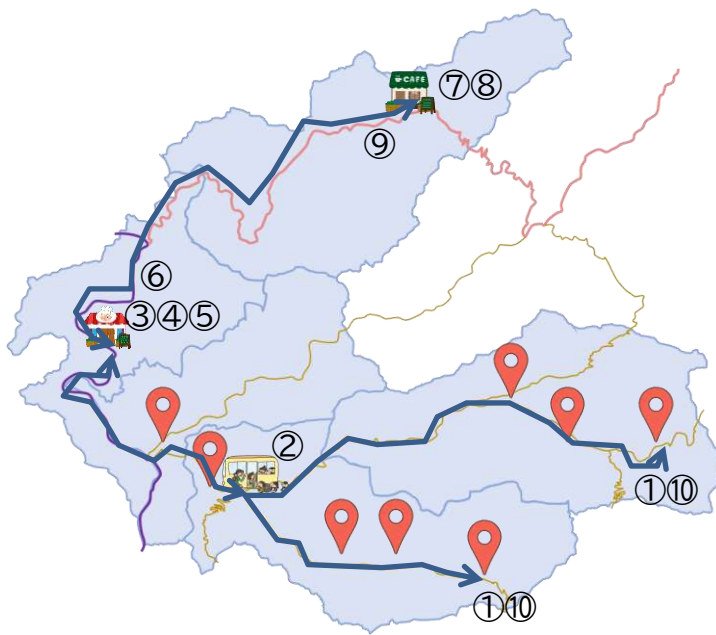
田口ニす江

おでかけツアー「ピアチェーレと佐見カフェ」

日程と参加者

- 令和7年3月28日(金)11:00～15:00
- 町内小中学生 12名

行程



- 10:00 ①切井・黒川の自宅
- 10:35 ②マツオカ乗り換え
- 11:00 ③ピアチェーレ到着
- 11:00 ④フレーバーティーづくり
- 11:30 ⑤レストランで昼食
- 12:40 ⑥佐見地区のカフェへ移動
- 13:20 ⑦佐見でヤギ餌やり体験
- 13:40 ⑧佐見カフェで軽食
- 14:20 ⑨自宅へ
- 15:30 ⑩切井・黒川地区の児童帰宅

トピックス

- ShiRaCa を使っておでかけ、町内観光施設(ピアチェーレ)で買い物を楽しんでもらう。
- 春休み期間の子どもたちに町内の魅力を体験してもらう。保護者にも便利さが伝わる。

ねらいと効果

● このツアーの狙い

- 小中学生の児童生徒が公共交通を身近に感じ、主体的に活用したい意識をもってもらう。
 - 予約の手軽さ、ドアツードアの便利さ、町内の娛樂のあり方を知ってもらう。
- 参加した児童生徒が保護者や友達に「楽しかった」「便利」を広めてもらう。

● ツアーを実施してみた

- 自宅まで送り迎えしてくれる公共交通の利便性が伝わった。
- 子どもたち、友達同士で町内へ遊びに行けることがわかり、継続利用の意識が高まった。
- ポジティブな情報を広く波及させるため、SNS 情報発信に加えて「口コミ」を推奨していくことが重要。

ツアーの状況（写真）



（自宅から乗車）



（バスの車内は賑やか）



（マツオカでマイクロバスに乗り換え）



（フレーバーティーづくり）



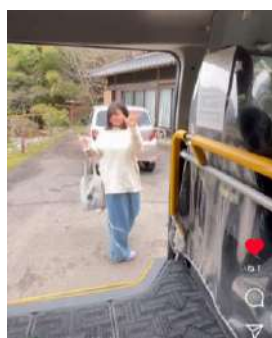
（ピアチェーレで買い物）



（ピアチェーレ昼食）



（佐見地区のカフェで軽食）



（帰りも自宅まで送り）

（参加者）

小学5年生 4名
小学6年生 4人
中学1年生 4人

アンケート結果

- 知名度は、参加者全員が「おでかけしらかわ」を知っていた。
- そのうち、75%(9人)が利用経験があった。
- 情報の入手先は、親から(5人)、町中で見た(5人)、学校(2人)、友達から・広報しらかわ(各1人)
- 運賃の水準は、ちょうどいい(7人)、高い(4人)、安い(1人)

● 考察

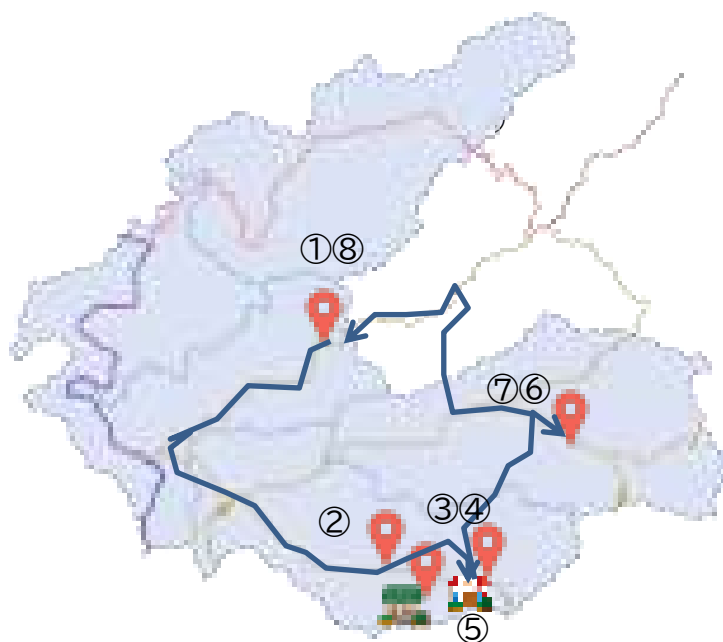
- 知名度や利用経験は、取り組みが浸透しており認知が広がってきている。
- 更なる認知度向上には、親からの情報提供を推進する必要がある。学校の授業や広報紙の特集なども関連して取り組む。
- 児童生徒の運賃については、目的地側がある程度負担するか、行政ポイントの活用を検討する。

おでかけツアー「杵振り踊りと東座」

日程と参加者

- 令和7年4月13日(日)9:00~15:00
- 中川地区有志「グロキシニア」 7名※毎週土曜日に地区公民館で交流する高齢者グループ

行程



9:00 ①中川地区公民館

9:30 ②切井龍気寺 座禅

10:30 ③切井わいわい広場(喫茶)

11:30 ④切井佐長田神社 杵振りおどり

12:30 ⑤田中屋旅館で昼食

13:40 ⑥黒川地区 東座見学

14:40 ⑦黒川地区 佐久良田神社 見学

15:00 ⑧中川地区公民館 到着

トピックス

- 普段は自家用車で仕事など出かける「現役世代高齢者」が、はじめておでかけしらかわに乗る！
- 町内の賑わいや娯楽に触れる！新たな発見があるお楽しみツアー

ねらいと効果

● このツアーの狙い 考える・知る・気付く

- 現役世代の高齢者に対して、地域公共交通の使い方の提案と継続活用について考えてもらう。
- 住民グループで普段行かない地域や行事などを見学することで他の地域の賑わいを知ってもらう。
- 地域行事の人集めに公共交通の利用が効果的であることを周知する。

● ツアーを実施してみて

- 地域の活動グループや同好会など既存の組織での取り組みが効果的。
 - そもそも地域での交流や活動グループが成立していないと娯楽・移動という認識が生まれない。
- 他地域の行事や歴史などに触れることで、町全体の理解や認識が広がり相互交流のきっかけになる。
- 地域の商店や行事の主催者が、公共交通おでかけツアーの有効性に気付かれた。

ツアーの状況(写真)



中川公民館出発



車内の様子



切井龍気寺到着



龍気寺内講話



わいわい広場(喫茶店)



切井春祭り杵振り踊り



雨天の中特等席で歓談



黒川東座で地歌舞伎練習見学



黒川佐久良田神社のち帰路へ

ヒアリング内容

- 地域で女性の集まりはあるが、男性の集まりが無い+地区公民館の利活用→グロキシニアの経緯
- 免許返納には、おでかけしらかわの乗車経験が後押しになる。敬老会の記念品に無料券などはどうか
- 地域内の移動のニーズは、民生委員が把握していることが多い。
- 祭りの主催者や旅館から、「公共交通を使ったツアーがお祭りの活性化に有効だと気付いた」と感想

考察

- 地域活動の活性化+地域資源の活用+地域内外交流+地域文化のPR etc.→公共交通がジョイント

貨客混載事業について

【農家さんの悩み】

- ・野菜を町内(よいいち)や町外に出荷したいが、往復で1時間以上かかるため農作業の時間が減ってしまう。
- ・車が運転できず野菜を出荷できない。

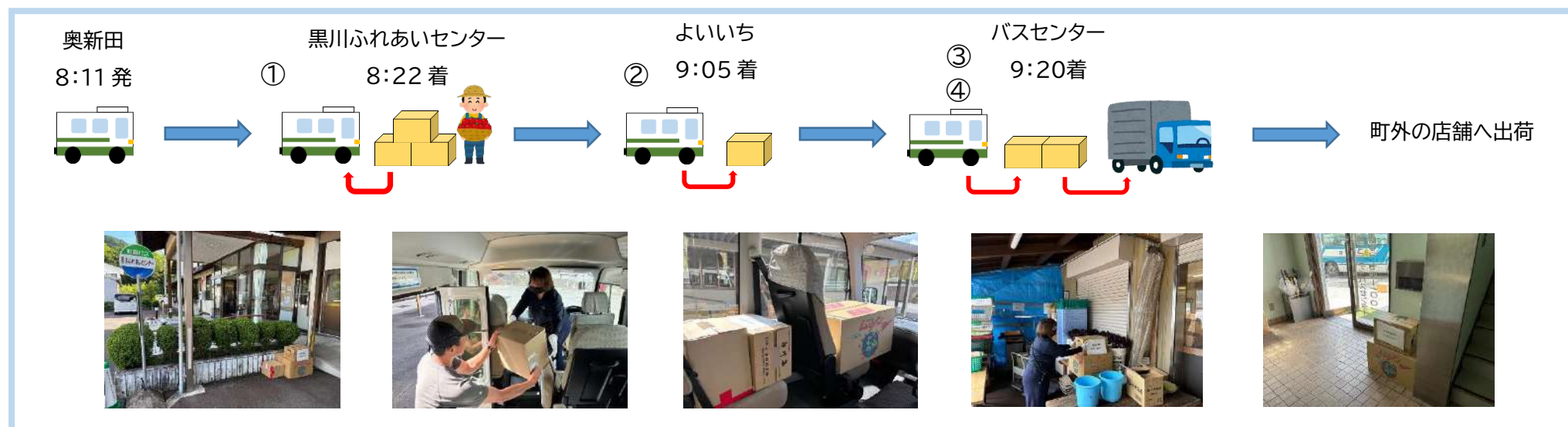
【関係事業者と打合せを実施】

2月13日(木) 参加者: よいいち、有機ハートネット、大新東株式会社、役場

- ・現状の出荷方法の把握
- ・貨客混載で利用可能な運行時間の確認

【実証運行の実施】

6月17日(火) 黒川地区から空の段ボールを運び、出荷時の流れの確認



- ① 黒川地区の野菜は黒川ふれあいセンターでバス車内に積む。車内で農家さんから運転手に荷物を渡す。その後、料金支払い。
- ② よいいちの指定場所によいいち出荷分の野菜をおろす。
- ③ バスセンター到着後、町外出荷分の野菜をおろし、日の当たらない場所で保管。
- ④ 町外出荷業者がバスセンターに到着後、町外出荷分の野菜をトラックに積み出荷。

【今後の流れ】

- ・実証運行の継続
- ・佐見地区の運行について検討
- ・料金の検討(7月～9月)
- ・協議後、少量貨物の申請(12月)
- ・車両の構造変更(3月)

座席取り外し位置



令和7年度 地域公共交通計画事業実施計画

項 目	令和7年度(2025年度)												令和8年度(2026年度)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活性化協議会の開催予定				第1回 ★				第2回 ★			第3回 ★					第1回 ★		
1-1 地域や利用実態に即した運行の見直し 10月1日改正 新庁舎に 関わる改正 「実施主体」 協議会、白川町、交通事業者、地域部会	5/15 事業者・病院打合せ			協議 ★	周知期間			協議 ★			報告 ★							
			案決定		事業者・病院打合せ		案決定	周知期間		10/1 見直し								
						案作成				1月 見直し(新庁舎開庁)								
1-2 東白川村内の移動支援の充実 「実施主体」 東白川村、交通事業者	時刻改正 案作成		改正	報告 ★							実績報告 ★							
		周知期間								空白地有償運送 運行開始(開始時期未定)								
1-3 より柔軟なサービスの研究 「実施主体」 協議会、白川町、交通事業者、地域部会					町外移動ニーズ調査		福祉有償運送と 町外移動ニーズの整理			事業計画立案	報告 ★							
																実証運行		
1-4 福祉有償運送の充実 「実施主体」 社会福祉協議会、協議会、白川町 保健福祉・社協 実施主体調整 運行準備		5/22～包括ニーズ調査			8/6ケアマネ調査依頼		報告 ★	使用車両調査		協議 ★	利用者周知					福祉有償運送 新体制開始		
		5/29社協				全体量の把握		運転手選定・研修										
						実施体制検討		事業計画立案		申請準備	登録変更申請					運行開始		
											試験運行							
1-5 貨客混載事業の研究と実証 「実施主体」 白川町、東白川村、交通事業者 野菜直売所、郵便・貨物運送事業者	運搬方法の検討	6/12 打合せ		報告 ★	1回目 空箱 2回目以降 実際の流れ													
実証運行					実証運行(黒川)													
届出					佐見地区打合せ					少量貨物申請		構造変更						
本格運行					料金設定の検討			協議 ★	周知									
										新体制スタート								

項 目	令和6年度(2024年度)												令和7年度(2025年度)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2-6 ホームページ・SNSのリニューアル		6/27 デジタルサイネージ設置				ホームページ随時更新		・ 主な行先への利用案内 ・ 白川口駅から観光施設等への利用案内 ・ 観光モデルコース紹介 ・ イベント参加案内										
《実施主体》 協議会、白川町、東白川村、観光協会																		
2-7 デジタル技術を活用した使いやすいシステムの導入		6/1 地域通貨導入							地域通貨を活用したイベント実施									
《実施主体》 協議会、白川町、東白川村、交通事業者 医療機関、連携団体																		
2-8 レンタサイクルを活用した利用促進																		
《実施主体》 白川町、交通事業者、観光協会																		

ダイヤ改正について

現状の課題

- ① 白川病院から三川に行く便の10時台がないため、病院利用者の待ち時間が発生する。
- ② ゲンキーからよいいち間で近い時間帯の運行があり、この時間帯は利用者が少ない。
- ③ 濃飛バスの出発時刻と各地区便の乗継のタイミングが合わず、直行便で運行している
- ④ 越原消防センターから白川病院 11:07 着の便が中央線の白川病院着の時間と重複しており、白川線のバスが先に来て病院を通り過ぎた場合、置いてかれたと勘違いしてしまう。



解決案

①

ゲンキー9:47 発の便はこれまで下油井駅まで運行していたが、下油井駅に行く利用者はほとんどいないため、よいいちまでの運行とする。この時間帯はよいいちから三川方面に折り返すことで白川病院から10時台に三川に行ける便を新設する。

→病院から帰る時間の選択肢が増える！

② ③

11時台の便を1便廃止する。それに伴い、連続運転時間で定められている運転手が休憩をとるタイミングを遅らせることができるため、これまで下油井駅発ゲンキー14:56 着の後休憩をとっていたが、ゲンキー到着後すぐに折り返して運行し、下油井駅で休憩をとることとする。これにより、14:56分に各地区便から濃飛バスに乗継が可能となる。

→より効率的で蘇原・黒川地区から接続しやすい運行ができる！

④

越原消防センター10:13 発の便を 10 分早めて 10:03 発にすることで、白川病院 10:57 着になるため、中央線との重複を避けることができる。また、白川病院は降車専用とし、乗客がいない場合は下桐バス停で折り返すため、より利用者の勘違いを防ぐことができる。

→勘違いを防ぎ、利用しやすい運行になる！